コミュニティワゴン試行運行の評価基準について

1．前回までの経過

・試行運行の評価基準について、何度か事務局案を提示

・庁内、議会からも「撤退の基準をはっきりさせておくべきだ」との声がある。

2．評価基準について

＜評価の考え方＞

・評価の軸は、お金（補助金＝赤字額）と人（乗客数）である。理想状態は赤字が少なく乗客数が多い状態（下図 A)、最悪の状態は赤字が多く乗客数が少ない状態（下図 D）であるといえる。

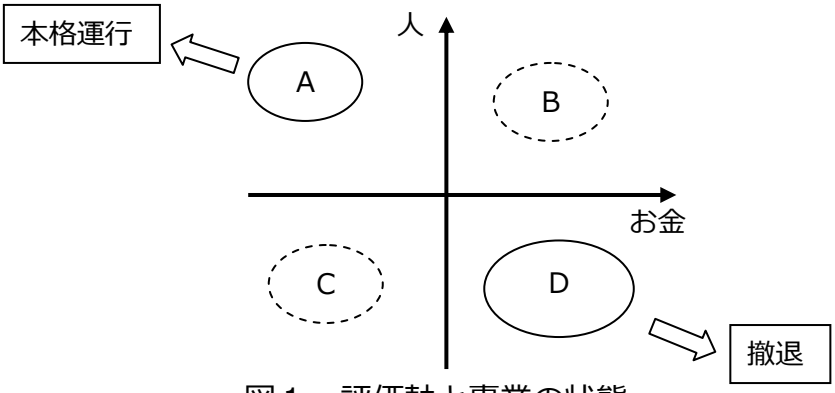

図１．評価軸と事業の状態

＜撤退＞

・乗客数

1 日あたり 70 人／ルート

・赤字分上限額

年間 900 万円／ルート（ただし、評価は四半期を目安に行う）

上記のいずれも達成できなかった場合、事業は撤退（廃止）とし、本格運行へは移行しないこととする。

＜その他＞

・上記以外についても、随時データ収集やアンケート調査を行い、事業の改善に努めていく。調査内容等はこれまでに提示したものを踏襲することとし、事務局と運行事業者で検討・実施していきたい。